

都城工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	ドイツ文化論	
科目基礎情報							
科目番号		0059		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2	
開設学科		機械工学科		対象学年		4	
開設期		後期		週時間数		後期:2	
教科書/教材		《最新版》ドイツの街角から 2024 高橋 憲 郁文堂 ISBN9784261012811					
担当教員		飯尾 高明					
到達目標							
1) ドイツ語圏の国々の現状についての知識と理解を得る。 2) ドイツ語圏の歴史的状況について体系的な知識を得る。 3) ドイツと日本の様々な歴史的関係を認識し、両国間の関係の将来の展望を自分なりに描くことができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	ドイツの政治・経済・生活についての体系的知識を有する。		ドイツの政治・経済・生活についてこれまでの教育で習得してきたことに加え、新聞などで得たそれらの現状に関する知識を有する。		ドイツの現状に関して断片的な知識が有する。		
評価項目2	ドイツの歴史・文化及び文学に関する深い体系的知識と関心を有する。		ドイツの歴史・文化・文学に関して学校教育で得た知識に加えて、現状のヨーロッパに関する知識と関心を有する。		ドイツの歴史・文化・文学に関する断片的知識を有する。		
評価項目3	ヨーロッパと日本、ドイツと日本の歴史的関係及び現状の関係について深い知識と関心を有する。		ヨーロッパと日本、ドイツと日本の歴史的関係及び現状の関係について知識と関心を有する。		ドイツと日本の関係について断片的な知識を有する。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	現在EUの中心的存在であるドイツ連邦共和国（以下ドイツと略）の現状及び歴史・文化を学び、ドイツひいてはヨーロッパと日本の関係に関する多角的な観点からの知見を獲得することを目指す。ドイツの現状とその歴史的文化的背景を多角的に学習し、ドイツ及びヨーロッパと日本の交流の歴史なども交えながらドイツの文化的理解を深める。						
授業の進め方・方法	対面授業を中心とし、課題を遠隔で課すことがある。テキストとプリントを中心に読み進める。授業中に指示された書籍、文献を読んでおくことが望ましい。						
注意点	ドイツ語の知識は前提としません。何らかの理由で定期試験が実施できなかった場合、当該期間の課題提出で試験評価に代える場合がある。						
ポートフォリオ							
（学生記入欄） 【授業計画の説明】実施状況を記入してください。 【理解の度合】理解の度合について記入してください。 （記入例）ファラデーの法則、交流の発生についてはほぼ理解できたが、渦電流についてはあまり理解できなかった。 ・後期中間試験まで： ・学年末試験まで： 【試験の結果】定期試験の点数を記入し、試験全体の総評をしてください。 （記入例）ファラデーの法則に関する基礎問題はできたが、応用問題が解けず、理解不足だった。 ・後期中間試験 点数： 総評： ・学年末試験 点数： 総評： 【総合到達度】「到達目標」どおりに達成することができたかどうか、記入してください。 ・総合評価の点数： 総評：							
（教員記入欄） 【授業計画の説明】実施状況を記入してください。 【授業の実施状況】実施状況を記入してください。 ・後期中間試験まで： ・学年末試験まで： 【評価の実施状況】総合評価を出した後に記入してください。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	

後期	3rdQ	1週	授業計画・達成目標・成績の評価方法等の説明 現代ドイツについて1	授業計画・達成目標・成績評価方法等の説明を聞き、 授業概要を理解する。 ドイツ及びドイツ語圏の国々の地理的理解を深める。
		2週	現代ドイツについて2	ドイツの現状について
		3週	ドイツと日本の関わり	日本の近代化とドイツ
		4週	ドイツの特性1	自動車社会という観点から見たドイツ
		5週	ドイツの特性2	日本とのさまざまな相違
		6週	ドイツの特性3	マイスター制度について、ドイツの自動車産業
		7週	ドイツの特性4	ドイツの教育制度
		8週	後期中間試験	これまでの学習内容の確認
	4thQ	9週	試験の返却 試験答案の返却と解説とポートフォリオ の記入	試験答案の返却と解説、復習とポートフォリオの記入 。
		10週	ドイツの風景1	ドイツの日常と生活
		11週	ドイツの風景2	ドイツの観光スポット（ロマンティック街道、古城街 道）とその歴史
		12週	ドイツの風景3	ドイツの観光スポット（メルヘン街道・ゲーテ街道 ）とその歴史
		13週	ドイツの文化1	ドイツの音楽、宗教的行事
		14週	ドイツの文化2	宗教改革について
		15週	ドイツの文化3	これまでの授業のまとめと考察
		16週	学年末試験	17週目は特別時間割、試験答案の返却と解説、及びポ ートフォリオの記入。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	60	0	0	0	0	40	100	
基礎的能力	60	0	0	0	0	40	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	